平成29年度

租税教育実践発表会資料







石卷市立中津山第二小学校 教諭 横田 英里

1 はじめに

私たちの暮らしを支えている施設やサービスは、私たちが支払う税金でその運営が成り立っている。国民の生活を支えるために、税はなくてはならないものであり、そのため、税は私たちの生活と最も深く結びついているものである。現在、私たちの暮らしは所得税や住民税、法人税や消費税などといった形で、50種類以上の税を納めることで支えられている。しかし、児童にとっては、税という言葉を投げ掛けても身近に感じることはあまりないのが実態である。そのため、自分たちの暮らしと税が密接な関係にあることに気付いていない児童が多い。

今回の学習を通して、自分たちの暮らしと税金との関わりについて関心をもち、国民 生活の安定と向上を図るために、税は大きな働きをしていることを具体的に考えるとと もに、社会の一員として生きていくという意識の高まりを期待したい。

2 児童の実態 (男子6名, 女子7名 計13名)

課題に積極的に取り組む児童が多い。しかし、進んで物事を考えたり、考えたことを 伝えたりするということが苦手だと感じている児童もいる。今回、租税教育を行うに当 たり、税金について下記の内容でアンケート調査を実施した。

(平成29年9月4日実施)

		質問事項	回 答		
質問	1	「税」という言葉を知っていますか。	はい	(1	3名)
			いいえ	(0名)
質問	2	「はい」と答えた人は,どのような種類	消費税	(1	3名)
		の税を知っていますか。 (複数回答可)	車の税金	(2名)
質問	3	集められた税は, どこに納められてい	玉	(7名)
		ると思いますか。	支所や石巻市役所	(2名)
			銀行	(3名)
			分からない	(1名)
質問	4	税金は何に使われているか、知ってい	店や学校を建てる	(7名)
		ることを書きましょう。(複数回答可)	銀行で集めている	(3名)
			石巻市の復興	(5名)
			分からない	(2名)
質問	5	税金は必要だと思いますか。	はい	(1	1名)
			いいえ	(2名)

<「はい」と答えた児童の理由>

みんなが困るから。復興に使われているから。学校などの建物が建てられないから。分からない。

<「いいえ」と答えた児童の理由>

家で支払う負担が増えるから。買い物するときに少しでも安い方がいいから。

以上,アンケートの結果から,「税」という言葉については学級の全員が聞いたこと はあるが,ほとんどの児童は消費税以外の税を知らないということが分かった。また,

税がどこに集められているのか、税が何に使われているのかについては、回答したものの自信がない児童が多く、税の使い道に関しては認識がないと考えられる。

税の必要性に関しては、85%が「必要」と回答しており、なくてはならないものだと考える児童が多い。一方で、15%の児童は「不必要」と回答しているが、自分たちの負担が増えるから払いたくないという漠然としたイメージしかない。

以上をまとめると、「税」は必要なものであると考えているが、具体的にどのように 必要なのかについてはよく分かっていない実態があると考えられる。

3 指導に当たって

児童の実態から、指導に当たっては以下のことに留意して学習を進めていきたい。

- ○税金が国民生活の向上と安定に使われていることを理解できるようにする。
- ○国や県,市によって行われている災害復旧の取組,地域開発などに必要な費用は税金によってまかなわれていること,また,それらは国民によって納められていることなどを理解し,税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする。

4 総合的な学習の時間との関連

- ○命を守る防災
 - ・石巻市の防災対策に、どのように税金が使用されているのかを調べる。
 - ・東日本大震災の災害復旧に、どのように税金が使用されているのかを調べる。

5 指導計画(2時間扱い)

	学習内容・学習活動	指導上の留意点	評価規準
事前指導	○事前アンケートの実施		
「税」につい	○石巻税務署の方を講師に	・視聴覚教材(DV	(知識・理解)
て考えよう	お招きし、租税教室を行	D) を活用するこ	人々の願いを実現
(1)	う。そこで、税が国民の	とで税が国民の生	するための費用に
	生活に密接に関わってい	活と密接に関わっ	は税金が使用され
	ることや税の必要性につ	ていることや税の	ており, 国民生活
	いて理解する。	必要性などについ	の安定と向上を図
	○税がない生活だと, どう	て理解させる。	るために大切な働
	なるかをまとめる。		きをしていること
			を理解している。
私たちの暮ら	○石巻法人会青年部の方々	· 石巻市法人会青年	(知識・理解)
しと税金	を講師にお招きし、石巻	部の方のお話を聞	自分たちの生活
(1)	市ではどのように税金が	いて、自分たちの	と税の関わりにつ
	使用されているのか, ま	住む石巻市の税金	いて理解してい
	た, 学校生活にはどれだ	について考えさせ	る。
	けの税金が使用されてい	る。	
	るのかを理解する。		

6 実践内容【租税教室】

(1) 目標

自分たちの生活と税が密接に関わっていることを知り、税の必要性について理解する。

- (2) 実施期日:平成29年9月8日(金)
- (3) 対 象: 石巻市立中津山第二小学校 第5学年 13名
- (4) 本時の展開

	学習活動と児童の反応 (・)	学習の様子
導入	 本時の学習課題を確認する。 自分たちの生活と税金との関わりを考えよう。 外部講師から税に関する話を聞くことを知る。 	
	 3 外部講師の説明を聞き、税金について考える。 (1) 児童が知っている税金の名前を発表する。 ・消費税だけではないんだ。 (2) 税金は誰が納めるものかを知る。 ・子どもは払わなくていいのでは? ・税金を納めるのに、年齢は関係ないんだね。 	○税金とは何かということを知る。
展 開	 (3) 学校と税金との関係を知る。 ・学校で使う物のほとんどには、税金が使われているんだね。 (4) 税金の種類を知る。 ・税金の種類は、50種類以上もあるということを初めて知った。 (5) 外国の税金について知る。 ・外国にも税金があるんだ。 ・外国には日本にはない税金があるんだね。 	○学校の備品や使用している教科書は 税金で購入していることを知る。

(6) 税金の使い道について知る。 ○税金の使い道がどのように決まって いるのか知る。 4 DVDを視聴し、税の必要性を考え る。 (1) DVD「マリンとヤマト不思議な 日曜日」を視聴する。 (2) 税金がなくなってしまうと、どの ように困るのかを考える。 ・税金がないと、今まで当たり前に受 けていたサービスが受けられなく ○納税の義務について知る。 なってしまうんだ。 公園がなくなったら困るな。 展 (3) 税金を支払いたいかどうか、自分 の考えをもつ。 ・税金がなくなってしまうと,大変 開 だから払いたい。 ・税金が必要だと分かったから, 払 い続けたい。 (4) 国民の三大義務を知る。 ○一億円のレプリカを持ってみる。 (5) 1億円の重さを知る。 こんなに重たいんだね。 ・税金は大切に使ってほしいな。 5 学習のまとめをし、学習感想を発表 する。 ま لح

8

7 租税教室実施後の感想

あなたの考えを書いてみよう。

私は小学生で1人あたり、1年間に約86万3千円もかかっていることにおいるではた。また、税金はいらないと思っていましたが、税金が無いと、消火を救急車を利用した人がいられたり、信号か無くなったりして、大選なことかたくさんあるなあと思いました。

あなたの考えを書いてみよう。

税金は初め、自分たちの負担になるのでお金がもったいない と思っていました。ですが、税金がないと自分たちが通っている学費なども 全て自分の家ではらわなくてはならないので、税金はとても大力

なんたいというごとをくわしく 知ること ができましたこ。

税金を払い続けて、みんなで助け合っていきたいです

あなたの考えを書いてみよう。

私は、今まで税金なんかいらないと思っていました。でも、税金の勉強をとおして、税金がなくなったら、教科書や道路などが有料になることが分かりました。私もきちんと払っていきたいです。

あなたの考えを書いてみよう。

今日、税金のことを学がました。

税金がらければ、今、無料である公共サービスをお金がかか るし、ことかそり以集してもらえず、公園でなるない、スレまうなど、 いろいろ大変だなと思いました。また、税金は国にと。てとて七大 てのな物であるということと、会税会におど話になっていると分かりました。

8 第2時の児童の活動の様子

○ 石巻法人会青年部の方々を講師 に迎え、私たちの暮らしと税金に ついてご指導いただいた。消防署 や警察署、また学校等の公共施設 にはたくさんの税金が使用されて いることを理解した。



○ 石巻市の税金がどのように使用 されているか知った。特に、東日 本大震災以降、土木費が多く支出 されていること、また、それらは 東日本大震災で壊れた道路や建物 を修復する費用になっていること も理解していた。



9 まとめ (実践を終えて)

- ・ 石巻税務署の方のお話やDVD, 具体物 (1億円のレプリカ) を活用した学習は分かりやすく, 児童は関心をもちながら税金の必要性を理解することができた。
- ・ 税金の必要性を考えさせるDVD (税金がなくなった世界のアニメ) の視聴は、納税 の大切さを考えさせる上でとても効果的だった。
- ・ 租税教室の後にも、石巻市法人会青年部の方々から石巻市では税金がどのように使われているかについて教えていただいたことで、自分たちの身近な地域での税について考え、学習を深めることができた。
- ・ 今後も総合的な学習の時間に、石巻市の防災対策や東日本大震災の災害復旧にはどのように税金が使われているのか調べる活動を継続し、自分たちの住む地域が税金のおかげで復興してきていることを実感させていきたい。